

【令和5年度 事業所における自己評価結果(公表)】

事業所名:上越市子ども発達支援センター 職員数:17

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|-----|---|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 17 | | 時間帯によって利用者が多い時は、館内の他の相談スペース等を活用し、調整を図っています。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 17 | | 療育活動における配置基準を厳守しています。 | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 17 | | スケジュールボードや絵カード等の視覚支援ツールを活用し、お子さんの発達段階に応じた支援を行っています。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 17 | | ・療育終了ごとに室内や教材の消毒を徹底し、危険なものが周りにないか、環境整備を心掛けています。 ・お子さんの活動内容に合わせた部屋を用意するよう調整をしています。 ・冬期活動では療育を行う部屋の状況に応じ、カーペットや小型ヒーターを設置するなどの防寒対策を行っています。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 17 | | 職員会議を定期的に設定する等、職員全員が話し合いに参加できるよう配慮しています。 | |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 17 | | 支援の振り返りの際や、保護者に対し事業所評価を実施する等で保護者の意向等から課題を整理し、サービス向上につなげています。 | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。 | 17 | | 事業所として自己評価を行うとともに、その結果について当市のホームページで公開しています。 | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | 療育内容や療育システムについて、外部講師による検証を定期的に行い、業務の改善を図っています。 | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 17 | | 外部講師による職員研修等を実施し、サービス向上を図っています。 | |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 17 | | 家庭や園の情報を把握しながら、お子さんの発達状況を保護者と共有し、個別支援計画に反映しています。 | |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。 | 17 | | | |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 17 | | 保護者の意向をお聞きしながら、お子さんの発達状況に合わせた具体的な支援内容を設定しています。 | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 17 | | | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 17 | | | |
| | 15 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか | 17 | | | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 17 | | | |
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 17 | | | |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 17 | | | |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 17 | | | |
| 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 17 | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 17 | | | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 17 | | | |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 17 | | | |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 17 | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|---|----|---|---|--------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 17 | | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 17 | | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 17 | | 地域の大学等と連携し、定期的に療育内容や療育システムの検証を行い、サービスの向上に努めています。 | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 就園している場合は、園と相互に連携を図りながら、療育を実施しています。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 17 | | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 17 | | | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 17 | | センターをりようする保護者を対象に、子どもの特性に合わせた関わり方を学ぶ「丁寧な親子コミュニケーション支援」を毎年開催しています。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 17 | | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 17 | | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 17 | | | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 17 | | 親子療育の中で、保護者同士が話をする場を設けました。また、活動の振り返りの際に、保護者同士が情報を交換する場を設けています。 | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 17 | | | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 17 | | | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 17 | | | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 17 | | スケジュールボードや絵カードを用いる等、意思疎通や情報伝達の工夫を行っています。保護者への連絡事項は、必要に応じて、文書で通知しています。 | |
| 非常時の対応 | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか | 17 | | 福祉交流プラザの「ふれあいフェスタ」において、当センターの活動内容を掲示し、地域の住民等に周知しました。 | |
| | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 17 | | 事故防止および事故発生時の対応や、感染症の対応について、職員を対象に研修や訓練を実施し、日頃から確認を行っています。また、親子療育の中で防犯・避難訓練を実施しました。 | |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 17 | | 災害時の対応について、確認や避難訓練を行っています。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 17 | | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | 当センターでは給食の提供は行っていません。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 17 | | ヒヤリハットがあった際は事例報告を作成し、事業所内で共有しています。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 17 | | ・虐待防止のための指針を作成するとともに、虐待防止に関する職員研修を実施しました。 | |
| 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 17 | | ・身体拘束等の適正化に関する指針を作成するとともに、身体拘束等適正化のための研修会を実施しました。 | | |